

Ⅱ－（３）教育環境の整備・充実

- ◎地域と学校
- ◎学びへの支援
- ◎地域性を活かした社会教育

これまでの取組み状況

地域と家庭が人を育てる

<学・社・民の融合による学校づくり>

「地域教育コーディネーター」を市立の全ての小・中・中等教育・特別支援学校に配置し、学校支援ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの社会性の育成や心の安定を図ったほか、子どもの成長や学びを地域全体で支える機運を向上。

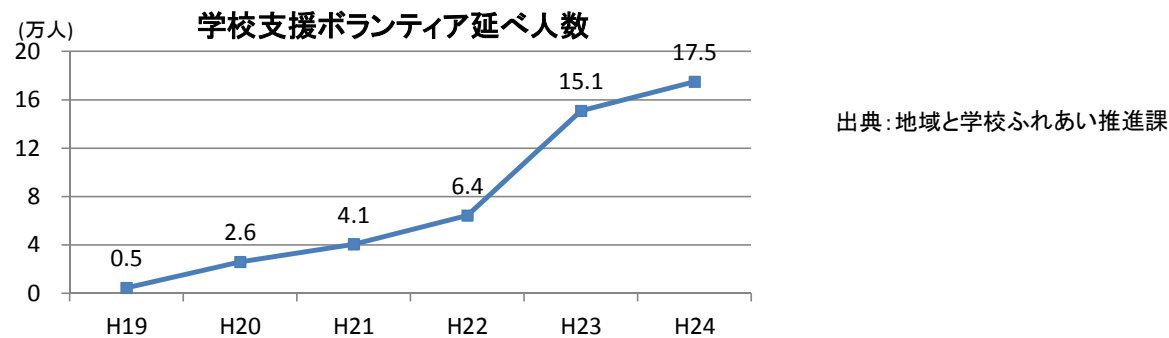
子どもに安心安全な居場所を提供するふれあいスクール事業を、平日の放課後及び土曜日の午前中に小学校の体育館などの施設を活用して、地域ぐるみでの子どもの健全育成を推進。

<権限を活かした個性的な教育>

政令市移行後については、教員の人事権が県から移ったことにより、適材適所の人材配置を行ってきたほか、平成26年度からは教育委員の増員及び担当区制を開始し、地域との教育ミーティングなどを実施。

<食と農を通じた人づくり・教育ファームの実践>

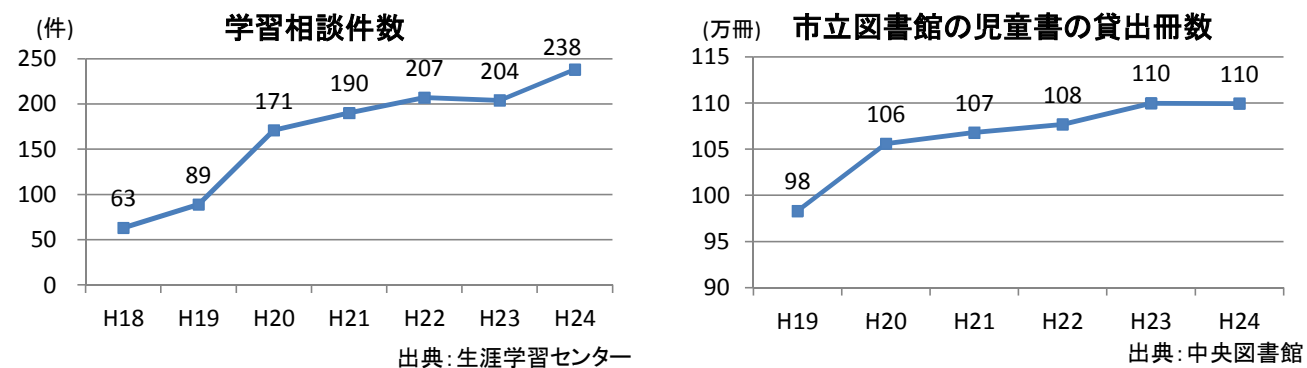
学校教育田にて農業体験を行い、食文化や農業への理解を深める体験の場や機会を提供してきたことに引き続き、平成26年度からは食育・花育センターや食と花の交流センター、アグリパークのオープンに伴い、全ての小学生に農業体験学習を通して食と農の理解を深めてもらう「新潟発わくわく教育ファーム」を開始。



生涯を通じて学び育つ

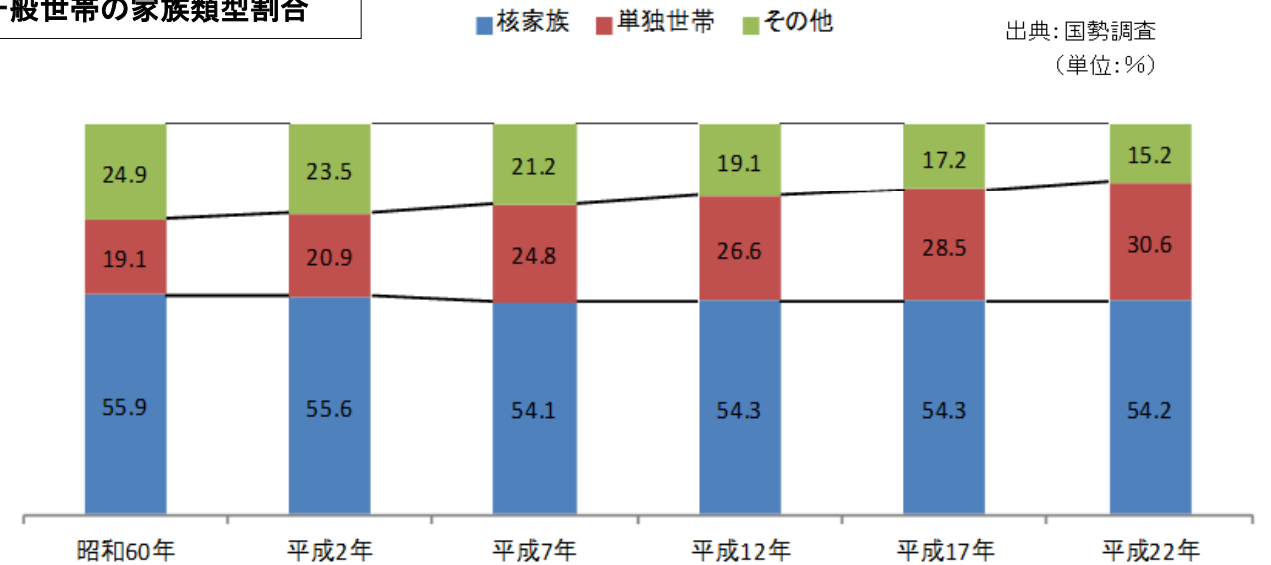
<市民の人材育成・生涯学習活動への支援>

地域のつなぎ役となるコミュニティ・コーディネーターの育成講座を全区で開催し、市民の人材育成に努めるとともに、学習相談ボランティアを養成し、学習活動に関する相談に応じるなど市民の生涯学習活動を支援してきた。また、図書館では多様化する市民ニーズに応えるため、レファレンスサービスの充実を図るとともに、ブックスタート事業や学校図書館支援などにより子どもの読書環境の整備を進めてきた。

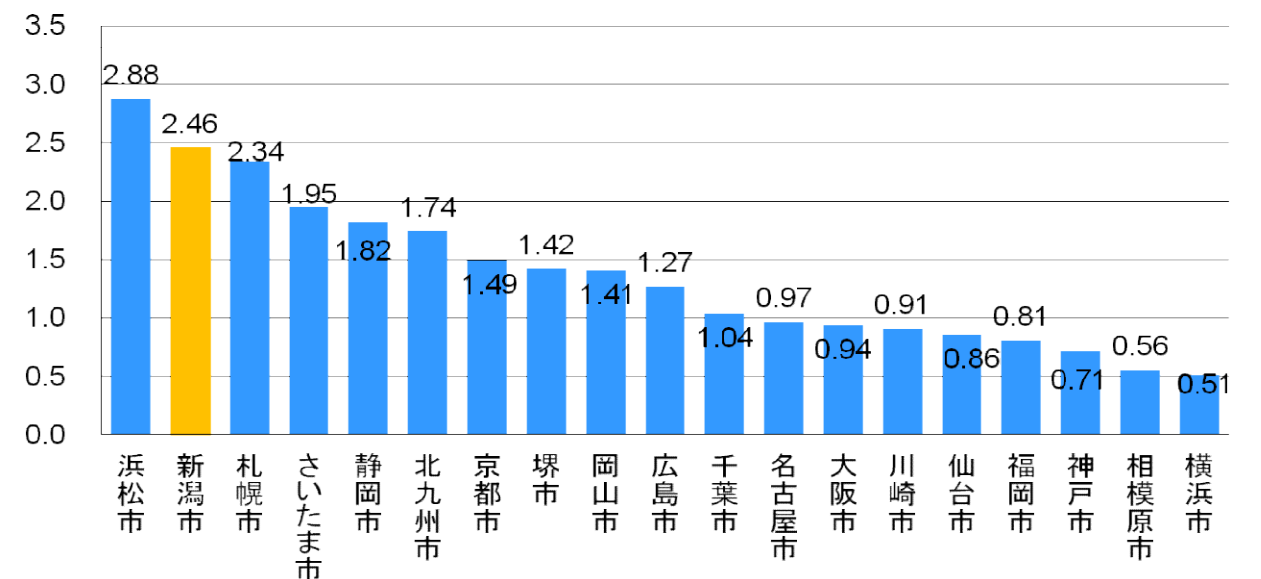


本市を取り巻く状況

一般世帯の家族類型割合



人口10万人当たりの図書館数



取り組むべき課題と今後の方向性

◎高齢世代も活用した子育て支援や、特長ある教育環境の整備

▷高齢世代などの力も活用した教育・子育て支援策の拡充や、個性ある教育プログラムの開発、魅力的な学校づくりなど、特長のある優れた教育環境を整備することが必要。

◎大学などの新設・拡充や外国人留学生への支援

▷大学や専門学校の新設・拡充の支援や外国人留学生への支援など、人口の流出を食い止め、流入を増やす取り組みを進めることが必要。